

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.10.03~10.07

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月3日(月) □

■中国でパッケージソフト販売 日本コンピュータ・システム

日本コンピュータ・システムは、中国でパッケージ(既製)ソフトウェア販売に乗り出す。オフショア開発拠点だったNCS上海に営業機能を追加。外食産業向けソフトなどを現地企業に。(12面)

■広東省、中小の誘致活発化 安く・リスク低く/初進出に配慮

広東省で二つの日本中小企業向け工業団地が誘致活動を積極化。「安く、リスクを抑えて進出したい」という中小企業の要望に配慮。現在、自動車部品や食品

中国・広東省日本中小企業工業団地の概要		
	花都	南海
工場賃料 (月額/㎡)	18元	15元
従業員宿舍賃料 (月額/4人部屋)	680元	680元
入居募集企業 (用地面積)	9社 (4万㎡)	20社 (21万㎡)
工場労働者 平均賃金 (月額目安)	3000元	3000元
1元=約12円		



関係などが進出検討している。(18面)

■樹脂原料、税率2.62%に大幅減 宇部興産/中国政府から最終通告

宇部興産は、子会社が中国に輸出するナイロン樹脂原料のカプロラクタム(CPL)のアンチダンピング関税の税率が2.62%になったと、中国政府から最終通告。最終通告では大幅に減率。(13面)

■車エンジン焼結部品、中国生産 三菱マテリアル/広東に現法

三菱マテリアルは、2012年1月をめどに、広東省で自動車エンジン周りで使われる焼結部品を製造する拠点を新設する。100%子会社のダイヤモンドが、全額出資子会社を現地に設立。(13面)

■長春にコイルセンター 伊藤忠丸紅鉄鋼/年20万ト

伊藤忠丸紅鉄鋼は、中国での自動車向け鋼材需要の拡大を受け、長春市に薄板類を加工するコイルセンターを設立する。順次、設備を増強、加工能力を年間20万ト規模に引き上げる。(13面)

■日本公庫、上海に事務所 現地日系企業同士の連携を支援

日本政策金融公庫は、中国で事業展開する日系中小企業を支援するため、上海国際貿易センタービルに駐在員事務所を開設。経営課題の解決や現地日系企業同士のネットワーク構築を支援。(23面)

10月4日(火) □

■中国で最大級の焼却炉 三菱重工/日量3000ト

三菱重工業は、北京市向けゴミ焼却設備を受注した。大規模処理に適したストーカー式で、処理能力は中国で最大規模となる1日当たり3000ト。2012年3月に機器納入が完了する予定。(7面)

■中国企業にDC提案 日立/上海に現法、設計担当

日立製作所は、中国でデータセンター事業を強化する。子会社の日立建設設計が上海に現地法人を設立。施工図面の資格取得など日本企業ではできなかった手続きが可能になる。(9面)

10月5日(水) □

■中国などでヒートポンプ普及 日本主導/省エネ技術

日本の主導でヒートポンプ・蓄熱システムをアジアに普及させる国際交流組織が発足した。中国とインド、ベトナムに韓国を加えた5カ国がヒートポンプなどによる省エネルギーを目指す。(12面)

10月6日(木) □

■中国で刻印機の組み立て モリイ/現地の協力工場

モリイは、年内に中国で容器や自動車、鉄鋼製品などに刻印する刻印機の組み立てを始める。日本から主要ユニットを輸出し、現地の協力工場に外装部品の生産と組み立てを委託する。(9面)



アルファが中国の新工場
で手がけるドアハンドル

■アルファ、中国内陸部に新工場 日産の増産対応

アルファは、中国内陸部に自動車用キーセットとドアハンドルの新工場を設ける。メキシコにはドアハンドルの新工場。2013年前半稼働。新興国で生産を拡大する日産自動車に対応。(8面)

■フジタ、中国200億円超 日本企業の工場・事業所建設に特化

フジタは、中国現地法人である藤田(中国)建設工程で2011年度は4割以上伸び、200億円超を売り上げる見通し。中国では日本企業の工場・事業所建設に特化して事業を展開する。(14面)

■中国に環境工本産業調査団 堺国際ビジネス推進協議会

堺国際ビジネス推進協議会は、企業の中国市場開拓を継続支援作りを進める。環境エネルギー産業調査ミッションを中国・広東省に派遣。ニーズ調査や、現地企業とのビジネスマッチング。(29面)

10月7日(金) □

■S Iの提携2倍、100社に 川重/車・液晶・半導体・食品

川崎重工業は、中国で生産ラインに口



新興国に拡張を狙うロボット「B Xシリーズ」(川重明石工場)

ボットを組み込むS Iの提携先を2014年に2倍の100社に拡充する。中国では自動車や液晶・半導体、食品などの業界に精通した現地S Iが育っている。(6面)

●ひと.....

基礎は人材育成

「日本は工作機械の生産規模で中国に世界トップを明け渡したが、技術や品質の信頼はトップ」と自負するのは日本工作機械工業会会長(ジェイテクト会長)の横山元彦さん。「日本がモノづくりで生き続ける基礎は人材育成だ。人を育て技術を高める」と決意。(3日=9面)

困ったの相談相手

「中国に頼んでいた仕事が、集まるようになった。日本の機械メーカーが困ったという案件に増えてきた成果かな」と頬を緩めるのは、坂西精機社長の坂西宏之さん。部品の精度や歩留まりが「困った」の中味。「良い相談相手になれていたのかな」と笑みがこぼれる。(6日=25面)

ASIA

10月3日(月) □

■日韓の中小が商談 ソウル/産業技術フェア

日韓産業技術協力財団は、「日韓産業技術フェア」を韓国・ソウルのホテルで開催。日本から19社、韓国から約90社が参加、124件の商談が行われた。今後の取引が有望な商談は約7割。(2面)

■タイに腕時計の部品工場 シチズン/生産能力20%増

シチズンホールディングスは、タイ・アユタヤ県に腕時計部品の新工場を建設する。2013年に稼働の予定。生産能力を20%増にする。投資額は30億円。文字盤や外枠などを生産。(9面)

■日立、インド開拓を加速 パワーエレで新工場/第5の重要拠点

日立製作所が、インドのインフラ市場開拓を加速する。高圧インバーターなどのパワーエレクトロニクスで現地企業を子会社化し、新工場を建設。米、欧、中、アジアと並ぶ第5の重要拠点に。(11面)

■パワー半導体の後工程会社売却 東芝/前工程に集中

東芝は、マレーシアのパワー半導体の後工程(組み立て)製造子会社の全株式を米アムコアテクノロジーに売却することで基本合意した。経営資源を前工程に集中させる。(11面)

■味の素、バングラデシュに販社 包装工場を準備

味の素は、バングラデシュで消費者向け調味料、加工食品事業を強化する。販売子会社を設立し12月から本格稼働。「味の素」の包装を現地ニーズに合わせる工場の建設を準備中。(16面)

■日系のタイ進出急増 アークビジネスサーチ取締役福田淳氏

日本企業のタイへの投資が急増している。福田淳氏は、「タイ市場に目線が合わせることが重要だ。タイは進出しやすいけれども事業を展開しにくい。日系企業だけでも7000社が進出」。(18面)

10月4日(火) □

■中国・アジア北米、物流充実 住友倉庫/米海運会社を買収

住友倉庫は、米国の海上運送・ウエス

トウッド SHIPPING LINES をグループ会社化。コア事業の港湾運送を強化。日本・北米や中国・アジア北米の物流ネットワークを充実させる。(3面)

■インドネシアに販売子会社 富士電機/インバーターなど

富士電機は、インドネシアに販売子会社を設立した。インバーターなどのコンポーネント製品や、インフラ分野でプラントの営業を強化する。2012年度に約18億円の売上高を見込む。(3面)

■シンガポール社を買収 日立プラントテクノ/雷の防災

日立プラントテクノロジーは、防雷システム販売事業を手がけているシンガポールのL E Cアジアの株式75%を取得し、連結子会社化した。電源・動力が不要な落雷抑制システムを販売。(6面)

■テクノコート、タイに現法 補修・肉盛装置/月産4台

テクノコートは、タイに現地法人「テクノコートアジア」を設立。11月をめどにアーク放電式補修・肉盛装置の組み立てを始める。生産台数は月産4台。海外拠点は中国に次いで2カ所目。(7面)

■野村総研、印にコンサル拠点 現地調査会社と提携

野村総合研究所は、インドのデリーにコンサルティング事業の現地法人を10月下旬に設立する。また、現地の調査会社の株式を25.1%取得する。製造業や流通業にコンサルを提供。(9面)

■韓国・東亜製薬とバイオで提携 Meiji Seikaファルマ/ソウルに合併

Meiji Seikaファルマは、韓国の製薬大手の東亜製薬とバイオ後続品の関連で戦略的提携。バイオ後続品の研究開発、製造販売を展開する。合併企業をソウルに設立、新工場を建設。(15面)

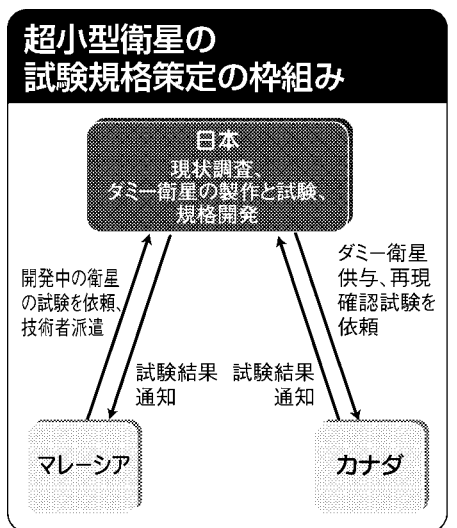
■シンガポールの運用会社を買収 日興AM

住友信託銀行傘下の日興アセットマネジメントは、シンガポールの地元銀最大手DBSバンクの運用子会社DBSアセット・マネジメント(DBSAM)の買収手続きを完了した。(時事=19面)

10月5日(水) □

■日立、五つ星ホテルから受注 エレベーター19台/インド

日立製作所は、インドのニューデリーに建設中の五つ星ホテル向けにエレベーター19台を一括受注した。インドの高級住宅や企業、ホテル向けに400台以上のエレベーターの受注実績。(3面)



■ミニ衛星、試験規格を策定 開発の主導権狙う/経産省など

経済産業省などは、超小型衛星の試験評価規格を策定する。一边が50g以下、重量50kg以下の衛星について、宇宙で熱や振動の試験の規格を開発。2016年には国際標準化する計画。(1面)

■いすゞ、タイ現調90%に 輸出用ピックアップトラック

いすゞ自動車は、タイで生産する輸出用ピックアップトラックの部品の現地調達率を70%から2年後には90%に高める。品質・コストを条件に、日系だけでなく、現地資本企業からも。(5面)

■台湾社に修理技術を供与 冷却ユニット/エディンジャー

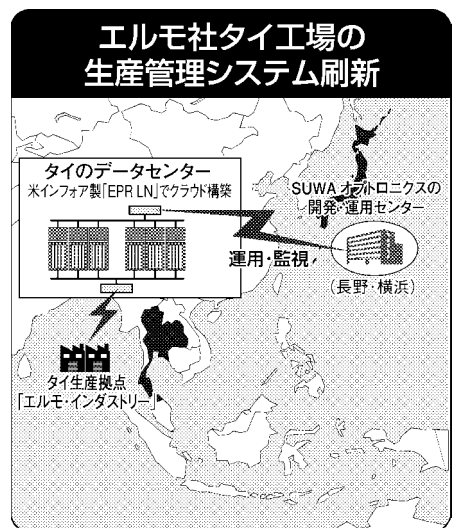
エディンジャーは、半導体装置向けなどのチラー(冷却)ユニットの修理技術を、各種製造現場向け真空装置を手がけているアルバックの台湾法人に技術供与する。(7面)

■カワタ、ジャカルタの現調50% 樹脂成形機周辺装置/新工場が稼働

カワタは、2015年にも樹脂成形機周辺装置を生産しているインドネシア・ジャカルタ新工場の現地調達率を50%以上に上げる。新工場の従業員を2倍以上とする100人規模に増員する計画。(7面)



ジャカルタ新工場。近隣に土地を取得し、拡張も検討(カワタ)



■エルモ社タイ工場、日本で監視 日本インフォアがシステム

日本インフォア・グローバル・ソリューションズは、エルモ社のタイ工場の生産管理システムを米インフォアの統合業務パッケージで刷新した。運用・監視は日本から行う。(10面)

■タイで産業機器販売 ドーワテクノス/東南ア全域カバー

ドーワテクノスは、11月に同社初の海外現地法人をタイ・バンコク市に設立する。東南アジアで鉄鋼やタイヤの工場進出が相次ぎ、現地で産業用機器・設備の販売や保守業務を手がける。(11面)

■日軽金、ジャカルタに事務所 車向けアルミ製品の事業調査

日本軽金属は、インドネシアのジャカルタに駐在員事務所を開設した。拡大する自動車向けアルミ製品の可能性などを調査する。中国、タイ、ベトナムで生産拠点や販売網の新設や増強。(11面)

■神戸に台湾からの観光客誘致 魅力をPR/神戸会議所

神戸商工会議所は、台湾からの観光客誘致促進を狙い「訪台インバウンド誘致ミッション」を19-21日に派遣。神戸や明石、姫路などの都市景観や歴史、グルメなどの魅力をPRする。(23面)

10月6日(木) □

■トヨタ、スマホ向けサービス 交通情報/MSとタイで展開

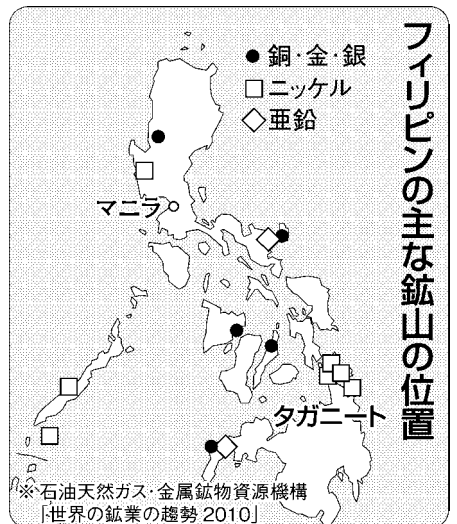
トヨタ自動車は、米マイクロソフトと共同開発中の次世代車載情報システムを用いたスマートフォン向けサービスを、2012年にタイで展開。交通情報を加味したナビゲーションなどを提供。(3面)

■住金物産がプレス成形品 インドに新工場

住金物産は、インドでプレス成形品事業に参入する。デリー近郊のニムラナ工業団地に、新工場を建設する。電機や自動車製造を手がける日系メーカーの需要増に対応する。(3面)

■鉱山開発に地元反発 非鉄、リスク対策急務

海外で鉱山開発を進める非鉄金属大手が、進出先の資源ナショナリズムや労働争議といったリスクに直面している。住友金属鉱山系のニッケル鉱山が、武装グループに襲撃された。(13面)



■成功表す「銀・黒」が人気 アジアの車カラー予測

自動車塗料の7割が白、黒、グレー、シルバーだが、アジア新興国では成長を反映し、知性や成功を象徴する上質なシルバーやブラックが人気に。BASFコーティングスジャパンが予測。(13面)

■インドネシアに製粉工場 豊田通商/日量1500ト

豊田通商は、インドネシア大手食品グループFKSキャピタル、マレーシアのマライアンフラワーミルと3社でインドネシア・ジャカルタ郊外に製粉工場を設立。製粉能力は日量1500ト。(15面)

■在宅妊婦管理システム納入 ミトラ/タイの2病院

ミトラは、「在宅妊婦管理システム」をタイの2病院に納入する。同社初の海外受注。医療機関や市町村などをインターネット回線で結び、妊産婦の健康状態や診療情報を共有。(25面)

ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた
日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

読み物 チャノネル
教育イベント チャノネル
専門・技術 チャノネル

ものづくり
チャノネル
地域 チャノネル